

平成 20 年 9 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 16 日

上場会社名 マルサンアイ株式会社

上場取引所 名証二部

コード番号 2551

URL <http://www.marusanai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下村 鈞爾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 大河内 宣久

TEL (0564) 27-3702

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 9 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 9 月 21 日 ~ 平成 19 年 12 月 20 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月期第1四半期	4,853	△3.5	190	53.1	174	32.5	104	65.0
19年9月期第1四半期	5,028	△5.1	124	△55.6	131	△54.2	63	△61.4
19年9月期	18,177	—	△32	—	△103	—	△137	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年9月期第1四半期	9	15	—	—
19年9月期第1四半期	5	52	—	—
19年9月期	△11	99	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年9月期第1四半期	16,384		2,966		18.1	259	99	
19年9月期第1四半期	17,349		3,174		18.3	276	93	
19年9月期	15,811		2,931		18.5	257	01	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年9月期第1四半期	309		△72		192		1,052	
19年9月期第1四半期	△256		△107		494		861	
19年9月期	695		△471		△329		624	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金			配当金総額(年間)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	中間期末	期末	年間			
19年9月期	円 銭 — —	円 銭 5 00	円 銭 5 00	百万円 57	% —	% 1.9
20年9月期(実績)						
20年9月期(予想)		円 銭 5 00	円 銭 5 00			

3. 平成 20 年 9 月期の連結業績予想 (平成 19 年 9 月 21 日 ~ 平成 20 年 9 月 20 日)

(%表示は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	9,405	1.1	116	243.5	61	90.5	7	—		65
通期	18,841	3.7	302	—	181	—	96	—	8	38

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 無

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 5. その他をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成 20 年 9 月期第 1 四半期の個別業績（平成 19 年 9 月 21 日 ～ 平成 19 年 12 月 20 日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 9 月期第 1 四半期	4,752	△3.5	184	60.0	164	30.5	94	62.3
19 年 9 月期第 1 四半期	4,922	△5.0	115	△59.2	125	△58.3	58	△67.4
19 年 9 月期	17,681	—	△60	—	△162	—	△150	—

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 9 月期第 1 四半期	8	29	—	—
19 年 9 月期第 1 四半期	5	08	—	—
19 年 9 月期	△13	21	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20 年 9 月期第 1 四半期	16,183		2,913		18.0	255	55	
19 年 9 月期第 1 四半期	17,177		3,133		18.2	273	30	
19 年 9 月期	15,540		2,882		18.5	252	75	

2. 平成 20 年 9 月期の個別業績予想（平成 19 年 9 月 21 日 ～ 平成 20 年 9 月 20 日）

(%表示は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	9,128	0.4	110	299.2	49	63.6	△4	—		△35
通期	18,212	3.0	245	—	122	—	39	—	3	42

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期（平成 19 年 9 月 21 日～平成 19 年 12 月 20 日）におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題による金融不安や、原油価格の高騰を受け、各企業が日用品の値上げを実施するなど、景気は不透明な状況で推移いたしました。

食品業界全般におきましては、ここ最近の食品の安全性を揺るがす事件を受け、消費者の「食の安全・安心」への関心が高まっており、各企業においては、より安全・安心に向けた動きが進んでおります。また、原材料等の高騰を受け、各企業において値上げや企業再編の動きが進んでおります。

みそ業界におきましては、主原料である大豆のみならずダンボール等の包装材料費の急騰が製造原価を大幅に引き上げる結果となり、各社において、みその値上げが発表され、実施に向けた動きが進んでおります。

豆乳業界におきましては、野菜系飲料等の健康飲料の多様化や一昨年のイソフラボンに関する報道を受け、豆乳市場の縮小傾向が続いております。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、積極的な新製品の開発や、安全・衛生・品質管理の徹底を図り、事業の効率化に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第 1 四半期の業績は、ストレート鍋スープ等の調理みそが順調だったものの、豆乳の売上が減少したため売上高は、48 億 53 百万円（前年同四半期比 3.5%減）、コスト削減に努めた結果、営業利益は 1 億 90 百万円（前年同四半期比 53.1%増）、経常利益は 1 億 74 百万円（前年同四半期比 32.5%増）、第 1 四半期純利益は 1 億 4 百万円（前年同四半期比 65.0%増）の減収増益となりました。

なお、セグメント別売上高は以下のとおりであります。

（百万円未満切捨て）

	平成 19 年 9 月期第 1 四半期		平成 20 年 9 月期第 1 四半期		前年同四半期比
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	%
生みそ	1,317	26.2	1,293	26.7	△1.8
調理みそ	340	6.8	392	8.1	15.1
即席みそ	140	2.8	131	2.7	△5.9
みそ事業計	1,799	35.8	1,817	37.5	1.1
豆乳	2,023	40.2	1,782	36.7	△11.9
飲料	815	16.3	854	17.6	4.8
豆乳飲料事業計	2,838	56.5	2,637	54.3	△7.1
その他	390	7.7	398	8.2	1.9
売上合計	5,028	100.0	4,853	100.0	△3.5

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 5 億 73 百万円増加し 163 億 84 百万円となりました。増加の内訳は、流動資産が 8 億 44 百万円増加いたしました。その主な要因は、未収入金が 1 億 98 百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が 5 億 38 百万円増加したことや現金及び預金の増加 3 億 81 百万円、立替金の増加 1 億 57 百万円等によるものであります。

また、固定資産は 2 億 71 百万円減少いたしました。その主な要因は、機械装置及び運搬具の減少 1 億 16 百万円、投資等の減少 1 億 22 百万円、建物及び構築物の減少 52 百万円等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ 5 億 38 百万円増加し 134 億 18 百万円となりました。増加の内訳は、流動負債が 9 億 21 百万円増加いたしました。その主な要因は、未払金が 4 億 26 百万円増加したことや、1 年以内償還予定社債の増加 4 億円、支払手形及び買掛金の増加 1 億 51 百万円等によるものであります。

また固定負債は 3 億 83 百万円減少いたしました。その主な要因は、社債が 1 年以内の償還となり、流動負債に移動して 4 億円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ 34 百万円増加し 29 億 66 百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が 47 百万円増加したこと等によるものであります。

3. 連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報

当第 1 四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末より 4 億 28 百万円増加し 10 億 52 百万円になりました。その主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3 億 9 百万円となりました。これは、売上債権の増加額 5 億 38 百万円や賞与引当金の減少額 1 億 44 百万円等の資金減少に対し、未払金の増加額 4 億 23 百万円や減価償却費 1 億 76 百万円、税金等調整前当期純利益 1 億 75 百万円等の資金増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、72 百万円となりました。これは、役員保険の解約による収入 1 億円等の資金増加に対し、有形固定資産の取得による支出 1 億 68 百万円等の資金減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、1 億 92 百万円となりました。これは、長期借入金の返済による支出 8 億 97 百万円や、配当金の支払額 57 百万円等による資金減少に対し、長期借入れによる収入 11 億円、定期性預金の払戻による収入 96 百万円等の資金増加によるものであります。

4. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、企業収益の改善に伴う設備投資の拡大や、雇用情勢の改善などが見られるものの、原油価格の高騰による石油関連製品の上昇、米国経済の景気不安要因等、依然として不透明な状況で推移するものと思われま。

当社におきまして、みそ事業に関しましては、主原料である大豆及びダンボール等の包装材料費の急騰を受け、平成 20 年 2 月 21 日出荷分より生みそ製品の値上げを実施いたします。

豆乳飲料事業に関しましては、豆乳市場が減少傾向にある中、豆乳の裾野を広げるために、新しい切り口の製品を開発するとともに、流動食事業を本格稼働させ、売上の回復を図ってまいります。

今後も引き続き環境、品質、安全、衛生面で細心の注意を払い、安全で安心できる製品作りを目指していく所存であります。

以上の取り組みにより、連結業績予想につきましては、平成 19 年 11 月 2 日に公表いたしました平成 19 年 9 月期決算短信に記載する業績予想より変更ありません。

5. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

主な内容は、有形・無形固定資産の減価償却の方法について、年度見込額のうち当四半期分を計上しております。また、その他影響額が僅少な項目につき、一部簡便的な処理を用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期末)	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成19年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	944	1,135	191	20.3	754
2 受取手形及び売掛金	4,101	3,545	△556	△13.6	3,006
3 たな卸資産	1,511	1,530	18	1.2	1,514
4 繰延税金資産	264	276	11	4.2	349
5 未収法人税等	18	10	△7	△41.7	8
6 その他	632	765	132	21.0	786
7 貸倒引当金	△2	△2	△0	—	△3
流動資産合計	7,471	7,261	△210	△2.8	6,416
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	3,100	2,969	△130	△4.2	3,022
(2) 機械装置及び運搬具	2,045	1,997	△48	△2.3	2,113
(3) 土地	2,636	2,654	17	0.7	2,636
(4) 建設仮勘定	70	6	△63	△90.2	0
(5) その他	64	50	△13	△21.8	52
有形固定資産合計	7,916	7,678	△238	△3.0	7,825
2 無形固定資産	59	53	△6	△10.2	54
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	832	526	△305	△36.7	534
(2) 繰延税金資産	705	725	19	2.8	714
(3) その他	372	140	△231	△62.2	265
(4) 貸倒引当金	△8	△0	7	—	△0
投資その他の資産合計	1,901	1,391	△509	△26.8	1,513
固定資産合計	9,877	9,123	△754	△7.6	9,394
資産合計	17,349	16,384	△964	△5.6	15,811

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期末)	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成19年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形及び買掛金	2,320	2,304	△16	△0.7	2,152
2 短期借入金	200	—	△200	△100.0	—
3 一年以内返済予定長期借入金	3,111	2,953	△157	△5.1	2,762
4 一年以内償還予定社債	—	400	400	—	—
5 賞与引当金	189	155	△33	△17.7	300
6 未払金	1,572	1,816	244	15.5	1,389
7 その他	833	435	△398	△47.7	538
流動負債合計	8,227	8,065	△161	△2.0	7,144
II 固定負債					
1 社債	400	—	△400	△100.0	400
2 長期借入金	3,711	3,529	△182	△4.9	3,516
3 繰延税金負債	10	11	0	8.7	11
4 退職給付引当金	1,369	1,458	89	6.5	1,448
5 役員退職慰労引当金	194	172	△22	△11.4	167
6 その他	261	181	△79	△30.6	192
固定負債合計	5,947	5,352	△594	△10.0	5,735
負債合計	14,174	13,418	△756	△5.3	12,879
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	865	865	—	—	865
2 資本剰余金	657	657	—	—	657
3 利益剰余金	1,658	1,505	△152	△9.2	1,457
4 自己株式	△12	△46	△33	—	△45
株主資本合計	3,169	2,982	△186	△5.9	2,935
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	8	△5	△14	—	0
2 為替換算調整勘定	△4	△12	△7	—	△4
評価・換算差額等合計	3	△17	△21	—	△4
III 少数株主持分	1	2	0	22.3	0
純資産合計	3,174	2,966	△208	△6.6	2,931
負債、純資産合計	17,349	16,384	△964	△5.6	15,811

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成19年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	5,028	4,853	△175	△3.5	18,177
II 売上原価	3,520	3,461	△59	△1.7	13,015
売上総利益	1,507	1,391	△116	△7.7	5,161
III 販売費及び一般管理費	1,382	1,200	△182	△13.2	5,194
営業利益又は営業損失(△)	124	190	66	53.1	△32
IV 営業外収益					
1 受取利息	0	0	0	31.2	2
2 投資有価証券売却益	—	—	—	—	15
3 技術指導料収入	—	17	17	—	—
4 賃貸収入	5	5	—	—	22
5 デリバティブ評価益	14	—	△14	△100.0	—
6 為替差益	13	9	△3	△29.4	51
7 持分法による投資利益	—	6	6	—	2
8 その他	6	4	△2	△32.9	22
営業外収益合計	40	43	3	7.6	116
V 営業外費用					
1 支払利息	29	30	1	4.0	115
2 たな卸資産処分損	—	2	2	—	32
3 デリバティブ評価損	—	21	21	—	21
4 持分法による投資損失	0	—	△0	△100.0	—
5 その他	4	5	1	41.6	17
営業外費用合計	33	60	26	78.2	187
経常利益又は経常損失(△)	131	174	42	32.5	△103
VI 特別利益					
1 貸倒引当金戻入益	0	1	0	216.3	—
特別利益合計	0	1	0	216.3	—
VII 特別損失					
1 固定資産売却損	—	—	—	—	2
2 固定資産除却損	5	0	△5	△95.7	13
3 固定資産減損損失	—	—	—	—	28
特別損失合計	5	0	△5	△95.7	44
税金等調整前 四半期純利益 又は税金等調整前 当期純損失(△)	126	175	49	38.8	△148
法人税、住民税及び事業税	0	3	2	256.6	15
法人税等調整額	60	66	6	10.4	△27
少数株主利益	1	1	△0	△36.6	0
四半期純利益 又は当期純損失(△)	63	104	41	65.0	△137

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)	(参考) 平成19年9月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期(当期)純損益	126	175	△148
2 減価償却費	169	176	689
3 貸倒引当金の減少額	△0	△1	△6
4 賞与引当金の減少額	△168	△144	△57
5 退職給付引当金の増加額	17	10	96
6 役員退職慰労引当金の増減額	6	4	△20
7 受取利息及び受取配当金	△1	△1	△5
8 投資有価証券売却益	—	—	△15
9 持分法による投資損益	0	△6	△2
10 支払利息	29	30	115
11 デリバティブ評価損益	△14	21	21
12 固定資産減損損失	—	—	28
13 売上債権の増減額	△769	△538	333
14 たな卸資産の増加額	△76	△15	△80
15 仕入債務の増減額	46	151	△121
16 未払金の増加額	292	423	109
17 その他資産の増減額	40	4	△112
18 その他負債の増減額	76	48	△22
19 その他	2	0	8
小計	△224	340	810
20 利息及び配当金の受取額	1	1	5
21 利息の支払額	△31	△30	△114
22 法人税等の支払額	△2	△2	△30
23 法人税等の還付額	—	—	25
営業活動によるキャッシュ・フロー	△256	309	695
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 有形固定資産の取得による支出	△72	△168	△765
2 無形固定資産の取得による支出	△29	—	△29
3 投資有価証券の取得による支出	△3	△3	△13
4 投資有価証券の売却による収入	—	—	312
5 役員保険積立による支出	△3	△2	△12
6 役員保険解約による収入	—	100	32
7 その他	1	1	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107	△72	△471
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入金の純増加額	200	—	—
2 長期借入れによる収入	1,200	1,100	3,200
3 長期借入金の返済による支出	△855	△897	△3,398
4 自己株式の取得による支出	△0	△0	△33
5 親会社による配当金の支払額	△97	△57	△97
6 定期性預金の払戻による収入	96	96	195
7 定期性預金の預入による支出	△48	△48	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	494	192	△329
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0	△0
V 現金及び現金同等物の増減額	131	428	△105
VI 現金及び現金同等物の期首残高	729	624	729
VII 現金及び現金同等物の期末残高	861	1,052	624